

平成 22 年度

病害虫発生予察注意報（第 3 号）

平成 22 年 9 月 16 日

茨城県病害虫防除所

畑作物や野菜でハスモンヨトウの発生が多くなると予想されます。

適期防除により被害を最小限に抑えましょう！

[発令の内容]

作物名：ダイズ、ソバ、野菜類、花き類

病害虫名：ハスモンヨトウ

発生量：多い

発生地域：県下全域

[発令の根拠]

- ① 9月上旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、笠間市（園芸研究所）、龍ヶ崎市（図）及び水戸市で平年より多く、土浦市及び筑西市で平年よりやや多い。
- ② 9月上旬現在、ダイズにおける寄生虫数及び白変葉（若齢幼虫の集団加害によって白く透けた葉）の発生か所数は平年より多い。
- ③ 気象予報（9月10日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年より少ないと予想され、発生を助長する条件である。

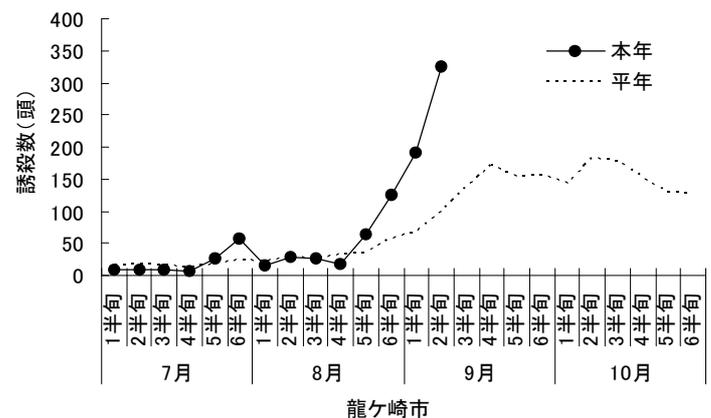
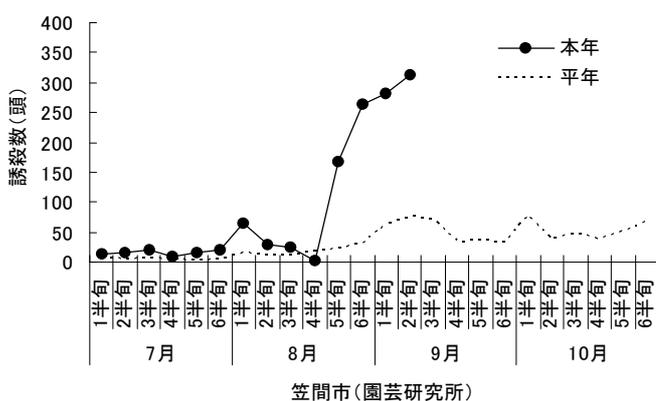


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺状況

[防除対策]

- ① 圃場をよく観察し、幼虫の早期発見に努める。齢期が進むに従って薬剤の効果が低くなるため、若齢幼虫のうちに防除を徹底する。
- ② レタス、ハクサイ、キャベツでは、結球内への食入を防ぐため結球前に防除を徹底する。
- ③ ダイズでは、白変葉の発生を認めたら防除を行う。
- ④ 施設栽培では、出入り口や開口部に防虫ネットを張り、成虫の侵入防止に努める。
- ⑤ 薬剤散布は、薬剤が葉裏や株元にも届くよう丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、同一系統の薬剤は連用しない。

表 ハスモンヨトウに登録のある主な農薬（平成22年9月8日現在）

系統名	作物名 薬剤名		ダイズ	ソバ	サツマイモ	ハクサイ	キャベツ	カリフラワー	ブロッコリー	トマト	ミニトマト	ナス	イチゴ	レタス	非結球レタス
カーバメート剤	オリオン水和剤 40				○										
	ラービフロアブル		○		○	○	○						○	○	○
IGR 剤	アタブロン乳剤		○		○	○	○			○	○	○	○	○	
	カスケード乳剤		○				○		○				○	○	○
	ノーモルト乳剤		○		○		○			○	○	○	○	○	○
	ファルコンフロアブル						○		○	○		○	○	○	○
	ロムダンフロアブル		○	○	○									○	
BT 剤	ゼンターリ顆粒水和剤		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フローバック DF		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	アフーム乳剤				○		○					○	○	○	○
	コテツフロアブル				○		○		○			○	○	○	○
	トルネードフロアブル		○		○		○			○		○	○	○	
	フェニックス顆粒水和剤		○			○	○			○		○	○	○	○
	プレオフロアブル		○		○		○		○	○	○	○	○	○	
	プレバソン フロアブル 5	散布	○				○						○	○	○
育苗トレイ灌注						○								○	

※ 薬剤によっては、感受性が低下して、十分な防除効果が得られない場合があるので、散布後に効果を確認する。

農薬の使用にあたっては、農薬のラベルに記載してある適用作物・使用方法・回数など使用基準及び注意事項等を確認のうえ使用して下さい。また、薬剤散布の際は、周辺作物への飛散（ドリフト）に十分注意して下さい。